

み か り ば

学校教育目標「かしこく なかよく たくましく」

令和6年 4月 8日

令和6年度スタート! 入学・進級 おめでとうございます

校長 安達 隆元

校内の桜や木々の枝には、もう若葉の芽吹きが見られます。春の訪れとともに、ぐんぐん伸びていこうとする様子は、本校の子供たちの素直で、前向きな姿と重なるように思えます。本日、4月8日(月)、**29名の新1年生**を迎え、**全校児童191名**で令和6年度の御狩場小学校がスタートしました。保護者の皆様には、お子様の入学、進級を心からお祝い申し上げます。

学校教育目標(目指す児童像)

かしこく・・・進んで学ぼうとする児童 学んだことを生かそう・使おうとする児童
 なかよく・・・友達を思いやり「やさしい言葉」で接することができる児童
 集団での学びや友達の学び・感情を考えて行動することができる児童
 様々な場面で、自ら考えて行動し、感動・感激することができる児童
 たくましく・・・元気に前向きに過ごすことができる児童
 困難な場面でも、粘り強く最後まで対応しようと努力し続ける児童

目指す学校像

【 やさしい言葉と前向きな気持ちがあふれ、互いに成長できる御狩場小! 】
 ~ 自己肯定感を高める学校 ~

今年度も、「目指す学校像」を『やさしい言葉と前向きな気持ちがあふれ、互いに成長できる御狩場小!』として本校教育活動を推進していきます。友人を思いやる「やさしい言葉」があふれば、安心・安全な学級につながります。このことは、一生懸命に頑張る、また、苦手なことでも失敗を恐れず全力を出せる・成長できる学校へとつながります。

学校・学級が失敗できる場所であり、自分の失敗も友人の失敗も肯定的にとらえ継続して挑戦し続けようとする「前向きな気持ち」が積み重なることで、「自己肯定感」が高まります。その結果、「生きる力(確かな学力、豊かな人間性、健康・体力)」が育まれていくものと考えます。

様々な場面で、互いの考えを聴き合いながら学びを深め、自分の学びのために友人と関わりを持つようになると、「互いに成長できる」学校になります。

これらのことは、将来、社会人として自らの人生を切り開き、自分らしく豊かな人生を過ごす力にきつとつながることと思います。

学校では、教職員一同、大切なお子様をお預かりする責任を自覚し、子供一人一人を大切に、粘り強くかかわる(認め・励まし・ほめる・見届ける)ようにして、明るく元気に学校生活を送れるように支えていきます。保護者、地域の皆様におかれましても、子供たちの健やかな成長のために、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。